

区民のいのち
暮らしを守る!

日本共産党 文京区議団ニュース

みんなのまち

第124号 2025年 新春号

区民のみなさんとともに! 20年の運動の成果!!

元町公園が文化財指定へ

区立元町公園と旧元町小学校は、1930年、関東大震災後の復興公園・小学校としてつくられました。元町公園は、52か所ある復興公園の中で、唯一現存する歴史的に価値の高いものです。

ところが、1998年の学校統廃合計画により、元町公園と小学校は廃止の危機に! その際、地域住民の方々が立ち上がって存続を求める運動が始まり、以後20年以上にわたり、保存と文化財指定に向けた区への要請を粘り強く繰り返してきました。ともに動いた共産党区議団の「文化財指定を」との要求に、区は「改修工事終了後検討する」との答弁に終始していましたが、11月議会において、元町公園を国の文化財指定とするため、いよいよ区が動き出すことが明らかになりました。区は、2024年11月から、都教育委員会と文化庁との調査・協議を進め、来年以降に指定される見込みです。

現在、元町公園は改修工事中ですが、2025年12月に開園を予定しています。当時の意匠を遺したカスケードや滑り台など、ぜひご注目ください。



カスケード
元町公園のシンボルでもある西洋の「水階段」。修復後はここに水を流す予定。

◀元町公園を視察する地元の関川区議。本会議や文教委員会で質問や要求を繰り返した。

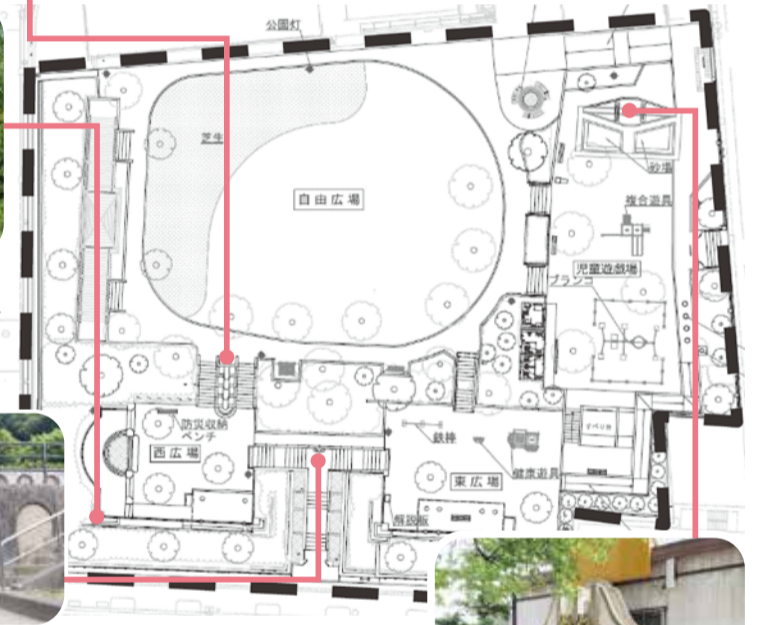
震災復興公園の遺構として保存されます



鷲の彫刻
亀裂や剥離部分を確認しつつ、洗浄も丁寧に行い、補修作業を進める。



壁泉擁壁
昭和初期のモダンなデザインが特徴。正門から見えるアーチ模様の壁泉擁壁。



研ぎ出し仕様の滑り台
左右対称の2連式滑り台。通常、梯子は撤去され、イベント時のみ滑ることが可能に。

これまでの歩み

- 1998年 区は、第1次学校統廃合計画で、元町小学校・公園を廃止することに。住民の存続を求める運動が始まる
- 2004年 都から「名勝指定対象」の公園として挙げられる
- 2006年 文化庁文化審議会の名勝委員会から文化庁長官に保存要望書が提出される。「日本の歴史公園100選」のひとつに選定される
- 2007年 党区議団は「学校統廃合・元町公園廃止計画」に反対するピラを配布する(1月)。文京区都市計画審議会で、区の「元町公園の計画変更案」は議論打ち切りとなり、元町公園の存続が決定
- 2015年 区が「保存・有効活用に関する提言」を策定し、公表した



▲植樹した被爆二世のアオギリ。



▲文教委員会でうるま市を視察。右はヌチシヌジガマ。

祝・日本被団協
ノーベル平和賞受賞

核兵器 廃絶へ

非核平和都市宣言をした文京区で 平和の取り組みをさらに推進!

2024年のノーベル平和賞は日本被団協が受賞しました。被爆の実相、核兵器の非人道性を語り続け、核兵器全面禁止を求める国際的な大きなうねりを生み出してきた被爆者のみなさんに心からの敬意を表します。

党区議団は11月議会でも、区長に「非核平和都市宣言をした平和首長会議の一員として、核兵器禁止条約を日本政府も批准するよう強く働きかけるべき」とただしましたが、「区として個別に働きかける考えはない」と

しています。

かねてから党区議団は、区が行う平和事業の推進を要求しており、一昨年は中学生を被爆地である広島へ、昨年は沖縄県うるま市への派遣が実現しました。また、2023年7月には、平和首長会議から譲り受けた被爆樹木のアオギリを教育の森公園に植樹しました。党区議団は、こうした平和事業を今後も拡充することを求めています。

日本共産党
文京区議団

TEL 03-5803-1317
FAX 03-3811-3197



いたくら美千代
区議会議員



金子てるよし
区議会議員



関川けさ子
区議会議員



小林れい子
区議会議員



千田えみ子
区議会議員



石沢のりゆき
区議会議員



区政へのご意見・ご要望をお寄せください

区議団ホームページ
<http://www.jcp-bunkyoکیدan.gr.jp/>

介護事業者の撤退続く 「千駄木の郷」はじめ、福祉サービス・雇用を守れ！

旧区立特養ホーム「白山の郷」の運営法人が撤退を表明したのに続き、今度は「千駄木の郷」の運営法人・桜栄会が、2026年度末での撤退を申し出ていたことが、12月3日の厚生委員会で報告されました。

ケアを受ける入所者と家族にとって大問題であり、職員は雇用継続の危機となります。ところが、区は桜栄会から昨年8月に申し出を受けた後、入所者説明が最優先とし、「撤退」の事実を11月まで公開しませんでした。

旧区立特養は、区から土地・建物の無償貸与を受け、介護報酬が「ユニット個室」より1割安い「多床室」を提供できるため、区もその必要性を認

めてきました。しかし、国の介護保険報酬削減や物価高騰などで、旧区立特養の経営が逼迫しています。今こそ、区独自の具体的な支援を強化するべきです。

区は撤退を容認し、後継法人の選定を急いでいますが、介護福祉水準の維持・向上と、蓄積された法人・職員の力を確保すべく、区の方針を転換させる必要があります。



◀12月17日「千駄木の郷」運営法人への最大限の援助を行うことなどを求める緊急要望を区長(対応は副区長)に提出。

旧区立特養とは？

2007年、区立特養くすのきの郷の法人が「介護報酬の不正請求」を行い、区の特養の設置資格が取消に。その際、千駄木の郷含む旧区立の4特養は、運営を区から受託していた法人が運営主体(民設民営)となり、今日まで旧区立特養を運営してきた。

ジェンダー不平等の温床！?

区の会計年度任用職員の8割が女性

区の会計年度任用職員は、2020年度の1630人から5年で342人増え、24年度は1972人となり、そのうち約8割が女性です。

また、戸籍住民課証明発行業務委託のテンプスタッフの従事者は、2013年の委託開始以降270人が離職、就業者の98.2%を女性が占めており、同様に指定管理委託するTRCやヴィアックス・紀伊國屋書店共同事業体が雇用した図書館職員の離職者は2010年以降373人で、就業者の83.5%が女性です。

さらに、区の女性相談支援員は、この5年間、年間7120~1万1149件もの相談件数に対応していますが、4人体制で全員が会計年度任用職員です。(17区で正規職員を雇用)

こうした自治体における非正規雇用の実態が、女性の生涯賃金が男性より1億円低い大きな温床となっており、妊娠、出産、介護などとの両立を求められ、非正規雇用を選ばざるを得ない女性への間接差別になっています。

国連から間接差別に関する法改正を求められている今こそ、本人が望めば正規職員になれる取り組みを行うなど、自治体が率先して働き方におけるジェンダー平等を推進すべきだと要求しました。



決算委員会
11月議会で論戦!

直面する 「文京区政」 の課題は今

9年間で保護者負担は約22万円！

区立小中学校の 「隠れ教育費」はゼロに

区立小中学校の副教材や学習用具、校外学習など学校が徴収する費用の平均額が、小学校6年間で合計11万2000円、中学校3年間で合計10万7000円であることが、明らかになりました。本来無償のはずの義務教育で「隠れ教育費」と言われる保護者の負担は、小中学校9年間で約22万円に迫ります。

こうした隠れ教育費について負担軽減を進める動きが広がり、品川区では学用品費のうち書道用具や絵の具、学習ドリル、彫刻刀、アサガオの栽培キットなどの補助教材を無償に、葛飾区も中学校の修学旅行費と小学校での移動教室を無償にします。文京区でも、隠れ教育費ゼロに進むべきです。

みなさんの声を
区政に届けます！



区政へのご意見・ご要望はこちらへお寄せください

障害者グループホームが足りない！

「居住地特例」の実態とは

区内の障害者グループホームが不足しています。入所できず、遠くは東北から四国などの施設に入ることを余儀なくされた「居住地特例者」は、199人(うち都外85人。2024年4月現在)となっています。

首都圏内で障害者施設を運営する法人関係者は「短期入所者が入所を繰り返す、実態は長期入所になっている方が100人以上。さらに障害児施設の利用者が成人すると行き場がない」と言います。

一方、区は障害者グループホームを2021~23年度までに「3か所・定員20人」を拡充する計画でしたが、実績は2か所10人に留まりました。党区議団は、「グループホームの整備は待ったなしで区が公有地だけでなく民有地を取得して事業者に貸与したり、区の責任で障害者グループホームをつくるべきだ」と要求しています。



▲共産党の国会議員団が現地を視察。「火気厳禁」と書かれたガス抜き管もむき出しに。

安全確認は大丈夫？

大阪万博への 修学旅行は

区立中学10校中7校

2025年度の区立中学10校中7校の修学旅行先は大阪万博です。

修学旅行などの校外行事では、事前に教員がトイレの位置や数、ルートなどの詳細な調査を行います。開幕するのは今年4月で、5月、6月に修学旅行を実施する学校は6校あり、年度当初の一番忙しい時期に調査を行うこととなります。

夢洲(ゆめしま)は現役の廃棄物最終処理場で、埋め立てたものの分解に伴って可燃性のメタンガスが発生し続けており、昨年3月には溶接の火花が可燃性ガスに引火し、爆発する重大事故が起きました。また、夢洲への交通ルートは2か所しかなく、災害時は大勢の人たちが洲(しま)に残され、孤立する危険性も指摘されています。近年5、6月頃から暑さが厳しく、熱中症の危険や近くでヒアリも発見されています。区は、こうした情報を学校・保護者と共有し、万博に子どもたちを行かせることを再考すべきです。